

# 看護

## 1 研究のテーマ

### (1) 研究テーマ

模擬電子カルテを用いた情報管理における看護師としての倫理観を育てる授業の実践と評価

### (2) 研究のねらい

看護における情報の活用と管理について、模擬電子カルテを用いた演習を通して患者の立場に立って考えることにより、看護師としての倫理観を育むことを目的として、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業の実践と適切な学習評価の工夫について検討する。

## 2 実践事例

### (1) 単元の指導と評価の計画

ア 科目名：看護情報

イ 単元名：看護における情報の活用と管理

ウ 単元の目標：

- ・看護における情報の活用と管理について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- ・看護における情報の活用と管理に関する課題を発見し、倫理観を踏まえて合理的かつ創造的に解決策を見いだす。
- ・看護における情報の活用と管理について自ら学び、看護における課題解決に主体的かつ協働的に取り組む。

### エ 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・看護における情報の活用と管理について理解するとともに、関連する技術を身に付けていく。	・看護における情報の活用と管理に関する課題を発見し、倫理観を踏まえて合理的かつ創造的に解決策を見いだしている。	・看護における情報の活用と管理について自ら学び、看護における課題解決に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

オ 単元のテーマ：患者さんの情報を守るために何ができるだろう

### カ 単元の指導と評価の計画 ○「記録に残す評価」 ●「指導に生かす評価」

次	時	学習活動	知	思	態	評価のポイント・指導上のポイント
1	1 ・ 2	・保健医療福祉分野の情報システムの基本とその特徴を理解する。 ・情報セキュリティと関連法規について理解する。	○			知 情報システムの基本と特徴や関連法規について理解している。 (ワークシート・定期試験)
2	3	・看護の課程において、情報を共有し、健康問題の解決に効果的に利用する方法について理解する。	○	●	●	知 看護における情報の活用方法について理解している。 (ワークシート・定期試験) 思 看護における情報の活用やその問題点と解決方法について考えている。 (ワークシート)

							態 看護における情報の活用とその基礎知識となる情報システムについての学びと課題を、自ら振り返り、今後の学習にいかそうとしている。 (振り返りシート)
3	4 ・ 5	・看護において個人情報を取り扱う際の、情報管理の重要性とセキュリティ対策について考える。		○	○	思 看護における情報管理の重要性やセキュリティ対策について考え、文章や発表で表現している。 (ワークシート・発表内容 振り返りシート) 態-① 看護における情報管理について、クラスメートと協力して演習に取り組んでいる。 (活動の観察) 態-② 看護における情報の活用と管理についての単元を通した学びと課題を、振り返っている。 (振り返りシート・アンケート)	

### キ 授業実践例 (4・5時間目／5時間)

学習活動 (指導上の留意点を含む)	評価の観点 (評価方法)
<p><b>【導入】</b></p> <p>①前時の復習とともに、本時の学習目標を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学びと結びつけながら、本時の学習目標を理解し共有することで、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。</li> <li>・単元のテーマ「患者さんの情報を守るために何ができるだろう」について考えを深められるように意識付ける。</li> </ul> <p>②入院の際に、どのような情報が必要か考え、共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院時に取り扱われる患者の個人情報について考え、クラス全体で共有する。</li> <li>・入院時以外にも、多くの場面で個人情報が取り扱われていることを知るとともに、個人情報の管理の必要性に気付かせ、本時の学習内容につなげる。</li> </ul> <p><b>【展開】</b></p> <p>③本時の活動内容について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬電子カルテの演習について理解し、見通しを持って主体的に取り組めるようにする。</li> </ul> <p>④模擬電子カルテから、患者の情報を収集し、患者情報シートにメモを取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学生が患者情報を収集する場面として設定し、自分が重要だと思う情報をメモする。</li> <li>・模擬電子カルテ（エクセルにより作成した教材）のファイルは、パスワードを設定し、ファイルを開く際にパスワードを入力することで、情報管理の重要性を意識づける。</li> </ul>	思 情報収集で気付いたことや情報収集における注意点とその理由を、メンバーと意見交換しながら深めて、ワークシートに記入している。 (ワークシート・ 発表内容・ 振り返りシート)



図 1 パスワード入力画面

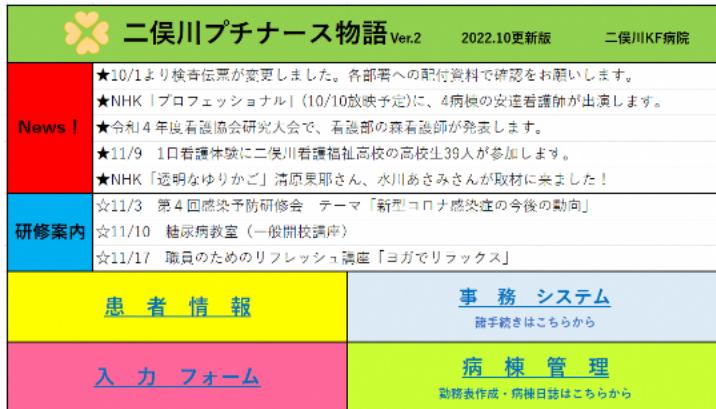


図 2 模擬電子カルテ画面①

患者ID	治療情報	患者基本情報	入院時推測	指示票	検査データ	画像データ
患者基本情報（データベース）：二俣川 高子						
氏名	二俣川 高子					
年齢	85歳					
生年月日	昭和12年9月1日					
性別	女					
職業	無職（専業主婦だった）					
社会資源	介護保険の利用なし。年金受給あり。					
住宅情報	4LDKマンション、5階建ての4階、エレベーターあり。洋式トイレ手すりはなし。					
家族構成	長女（64歳）、長女の夫（65歳）、孫（女34歳）、（夫は1年前に死亡）					
性格	穏やか、夫が死んでから口数が少なくなった。我慢強い。きれい好き。（長女より）					
検査履歴	検査（老眼鏡使用）					
聴覚履歴	老人性難聴（右の耳元で大きな声で話すと会話可能）					
言語履歴	なし					
運動履歴	なし					
その他	最近物忘れが多い。					
入院前の生活動作	食事：時間はかかるが、自分で食べられる。時々むせ込みあり。固い物は食べにくい。 排泄：自立 入浴：一部介助 更衣：自立 移動：杖歩行で、ゆっくり可能。					

図 3 模擬電子カルテ画面②



図 4 模擬電子カルテ画面③



図 5 模擬電子カルテからの情報収集①



図 6 模擬電子カルテからの情報収集②

＜手立て＞  
患者の立場に立った  
医療安全や情報管理  
の視点で考えること  
をアドバイスする。

⑤情報収集を通して気付いたことをワークシートに記入する。

- ・看護において多くの個人情報を取り扱っていること、および情報の取り扱いの注意点（確実にログアウトをする／メモ紙はなくさないように確実に保管する／メモ紙には記載方法に気を付けて記入する／メモ紙には記録した後にシュレッダーをかける／収集した情報は学習以外の場所で話さないなど）についても気付かせる。



図7 ワークシートへの記入

図8 ワークシート（参考資料1）

⑥情報管理の視点から、情報収集における注意点とその理由についてワークシートに記入する。

⑦情報管理はなぜ重要であるのかについて、ワークシートに記入する。

- ・情報管理の重要性を患者の立場に立って考え、患者の安全を守ることの意識が持てるようにする。

⑧個人ワークの内容を、グループで共有する。

- ・自分の考えを積極的に話すこととともに、人の意見はペンの色を変えてワークシートに記入し、クラスメートと協力して考えを深められるように意識づける。

⑨クラス全体で、グループで話し合った内容を共有する。

- ・自分の考えを、その理由を明確にしながら創意工夫して的確に Google Jamboardで表現できるようにする。

- ・グループ全員で前に出て、Google Jamboardを使用して発表し、クラス全体でワークの内容を共有できるようにする。



図9 グループワーク



図10 グループ発表

⑩情報管理の重要性と関連法規の確認を行う。

- ・既習内容の保健師助産師看護師法と個人情報保護法について復習し、関連法規による根拠を理解させる。
- ・「基礎看護」の記録の単元や、「看護臨地実習」のオリエンテーション内容とも結びつける。

【まとめ】

⑪本時の学びを共有する。

- ・本時の学びで自分が最も心に残ったことを、Google Jamboardに各自が記入し、

態—①

グループワークで話し合ったことを、整理しわかりやすく発表しようとしている。

（活動の観察）

<手立て>

発表内容についてのポイントや根拠を意識して発表するようアドバイスする。

態—②

演習の学びとともに、情報管理の基礎

クラス全体で共有できるようにする。

⑫本時の学びを振り返る。

- ・Googleフォームのアンケートに回答し、学びの振り返りを行い、電子カルテについての理解を深め、看護としての倫理観が高まったことをクラスで共有できるようにする。

- ・単元を通して学習の振り返りを、振り返りシートに記入させる。



図11 Google Jamboardでの学びの共有

図12 振り返りシート

研究実施校：神奈川県立二俣川看護福祉高等学校（全日制）  
実施日：令和4年10月28日（金）

授業担当者：池端 万須美 教諭 安達 ゆかり 教諭  
伊藤 ゆき 教諭

伊藤 ゆき 教諭

## (2) 主体的・対話的で深い学びの視点に基づく指導と評価のポイント

### ア 研究の目的

看護における情報の活用と管理については、医療・看護で取り扱う個人情報の特徴とその情報を共有するためのシステムを理解し、関係法規を遵守して適切に行う必要がある。また、医療・看護における著しい情報の進歩に対応していくように、情報管理の基本的な知識をいかしながら、患者の立場に立って自ら考え方行動できる看護師としての倫理観を身に付けることが重要である。本研究はその育成に資することを目的としている。

そこで本研究は、「情報管理における看護師としての倫理観」の育成を主体的・対話的で深い学びにおいて実現させることを目指し、「情報管理における看護師としての倫理観」を「守秘義務を遵守し、個人情報の保護に努めるとともに、これを他者と共有する場合には適切な判断のもとに行おうとする考え方や姿勢」と定義した。これは、日本最大の看護師職能団体である公益社団法人 日本看護協会による看護者の倫理綱領の条文5に、看護者は守秘義務を遵守し、個人情報の保護に努めるとともに、これを他者と共有する場合には適切な判断のもとに行う旨が示されており（日本看護協会 2021）、この条文を基にした。

## イ 指導のポイント（研究の手立て）

今回の研究授業においては、医療情報システムや個人情報の保護に関する基本的な知識を基に、模擬電子カルテを使用し、具体的な情報管理の方法とその理由を考えていくことを通して、情報管理に関して看護者が持つべき倫理的な考え方や姿勢に気付き、学びを深めることをねらいとした。そのために、

「看護で取り扱う情報やその場面をイメージすること」「対話を通して学びを共有し深めること」「目標達成のために自ら学習を調整し主体的に取り組むこと」の3点を主なポイントとした。

知識も振り返り、自己の学習の成果や課題を主体的に考えようとしている。

(振り返りシート)

## (アンケート)

### 〈手立て〉

学習の成果を認めながら、課題と一緒に考え、これからの中への取組にいかせるようにする。

#### (7) 「看護で取り扱う情報やその場面をイメージすること」

まず、「看護で取り扱う情報やその場面をイメージすること」については、エクセルで作成した模擬電子カルテで、患者の基本情報や経過記録、看護計画などの情報を具体的に示し、身体面、心理面、社会面から実際の患者をイメージすることで、患者や家族の心情にも思いを寄せ、患者の立場に立って情報管理を考えられることを目指した。今回の演習では、臨地実習で患者を受け持つ際に情報収集を行うという設定で演習に取り組み、情報の収集の場面を身近なものとして捉えさせ、生徒の関心が高まるようにした。また、模擬電子カルテを開くためのパスワードを設定し、情報管理の重要性を意識づけた。これらのことにより、生徒は医療や看護の場で取り扱う情報の内容や看護師の情報収集の場面をイメージし、情報を取り扱う際の注意点やその理由について具体的に考えることができた。また、患者や家族の立場に立って安全や安心を守るとともに人権を守ることの重要性について学びを深め、そのことが患者との信頼関係の構築に必要であるということの気付きにもつながった。

生徒の授業後の感想では、「電子カルテには、患者さんの重要な情報がたくさんあることがわかり、情報を守ることの大切さと難しさがわかった。」「情報を守るためにには多くの注意点があり、しっかりと自分で考えて行動することが必要だと思った。」「根拠を考えながら、情報収集や情報管理を行うことが大切だということに気付いた。」「情報管理は患者さんの安全や安心を守ることにつながっていることがわかった。」「個人情報を守ることは、人権を守ることだと思った。」「情報管理は、患者さんだけでなく家族や病院、学校などとの信頼関係を築くために、大切なだとわかった。」「患者さんの個人情報を預かっているという自覚と責任を持つ必要があると感じた。」「講義で習った内容と模擬電子カルテの演習がつながって、看護と情報がどのようにつながっているのかがわかった。」「実際に受け持ち患者さんの情報を取っているような楽しみな気持ちで、患者さんを想像しながら演習を行なえた。」「講義ではわかったつもりだったが、実際に情報収集をして考えてみると難しく、多くの知識が必要だと思った。」「もっと情報管理について知りたくなり、実習も楽しみになった。」などの記載があった。

#### (4) 「対話を通して学びを共有し深めること」

「対話を通して学びを共有し深めること」については、模擬電子カルテからの情報収集を通して気がついたことや、情報収集をする際の注意点とその理由、情報管理が必要な理由について、ワークシートに沿ってグループワークを行った。グループは四人の班編成とし、自由に意見交換を行い、その内容をGoogle Jamboardを使用してまとめた。発表はグループメンバー全員で行うことにより、全員が積極的に参加できるようにした。グループワークで自分の考えを表現し伝えることにより、個人ワークで考えたことを整理し深めるとともに、グループメンバーの考えを知ることで、様々な面から情報管理について考え、自分が気付かなかつた視点に気付くことができたと考える。

生徒の授業後の感想では、「グループワークで他の人の意見を多く知る機会があり、視野を広くすることができた。」「グループワークを通して、自分の考え方が大きく変わり、自分の意見を発信する力や他の人の意見を取り入れる力をつけ、大きく成長できた。」「自分の意見を、他の人の視点で見てもらうことができ、自分も考えを深められた。」「相手の考えとも照らし合わせて一つの意見にまとめることができ、知識も増えて考えも深まった。」「グループワークで考えが深まり、意見を共有することは看護において必要なことだとわかり、これからも話し合いを大切にして良い看護ができるようにしたい。」などがあった。

#### (5) 「単元の目標達成のために自ら学習を調整し主体的に取り組むこと」

「単元の目標達成のために自ら学習を調整し主体的に取り組むこと」については、情報管理についての倫理的な視点から、「患者さんの情報を守るために何ができるだろう」という単元のテーマを設定し、授業目標や授業計画を明確に示した。単元を通して考え身に付けてほしい力を生徒が理解することで、見通しをもって学習に取り組めるようにした。また、振り返りシートを活用して自ら学ぶ姿勢を大切にすることを意識づけ、毎回授業終了後に学びと課題を記入するとともに、最終的に単元全体の振り返りを行い記入することとした。

全ての生徒は振り返りシートに、授業毎に学んだことや気付きを記載することができ、今後知りたいことやわからなかつたことなどについても記載できている者も多かった。「将来、看護師になった時に、情報の流出などの大きな問題の発生を防ぐために、今から情報について勉強していきたい。」

「今回の講義で情報管理の重要性がわかったので、情報を守るための方法をもっと学んでいきたい。」「これまで、自分は情報管理についての知識や意識があると思っていたが、今回、授業を受けてもっと勉強しなければいけないことがわかった。」「看護で情報管理について正しい行動を取れるようにするために、普段の生活から情報について考えていかなければならないと思った。」「授業前に比べると授業後にわかるようになったことが多く、自分の成長を感じた。」などの感想があった。

#### ウ 評価について

観点別学習状況の評価の進め方としては、評価規準に基づいて、「知識・技術」は定期テストにより評価し、「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」はワークシート・振り返りシートの内容や発表内容から評価した。

「思考・判断・表現」については、ア「看護における情報システムの基本的な知識に基づき、根拠を持って情報管理について考えられていること」、イ「患者の立場に立って看護倫理を踏まえ情報管理について考えられていること」をポイントとして、ワークシートや振り返りシートなどから見取った。ア・イのそれぞれについて、a「十分考えられている」、b「考えられている」、c「考えられていない」の3段階で評価し、ア・イの両項目についてaだった者を「十分満足できる（A）」とし、ア・イの両項目がbの者と、項目アがaで項目イがb、または項目アがbで項目イがaの者を「おおむね満足できる（B）」とした。ア・イの両項目がc、または項目アかイのどちらかがcの者を「努力を要する（C）」として、各観点毎に3段階で評価することとした。

「主体的に学習に取り組む態度」については、ウ「情報管理について学ぼうとする意欲・姿勢を持っていること」と、エ「情報管理についての自分の学びや課題を毎回の授業で考えられていること」をポイントとして、ワークシートや振り返りシートから見取り、「思考・判断・表現」と同様に、ウ・エのそれぞれについて3段階で評価したものに基づき、「十分満足できる（A）」「おおむね満足できる（B）」「努力を要する（C）」の3段階で評価した。

#### エ 検証について

「情報管理における看護師としての倫理観」の育成度合いの評価については、単元の前後において4件法によるアンケート調査を行い、比較・検討した。質問①～④の全項目において、「よくわかる」「大体わかる」と答えたもののうち、質問⑤において、「とてもある」「ますますある」と答えた割合が、どの程度高まったかによって検証した。質問項目は次のとおりである。

- 質問① 看護で取り扱う情報には、どのようなものがあるか、わかりますか？
- 質問② 看護において、情報がどのように取り扱われているか、わかりますか？
- 質問③ 情報を守るために、どのような行動を取ればよいか、わかりますか？
- 質問④ 看護において、なぜ情報管理が重要か、わかりますか？
- 質問⑤ 情報管理が重要だという意識が、今、あなた自身にあると思いますか？
- 質問⑥ 情報管理について、これから学んでいきたいと思いますか？

アンケート結果は次の通り、授業後においてはほぼ望ましい状態となった。（N=35）

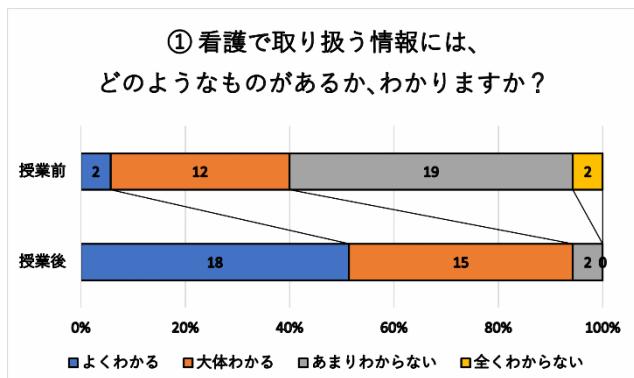


図13 アンケート項目①

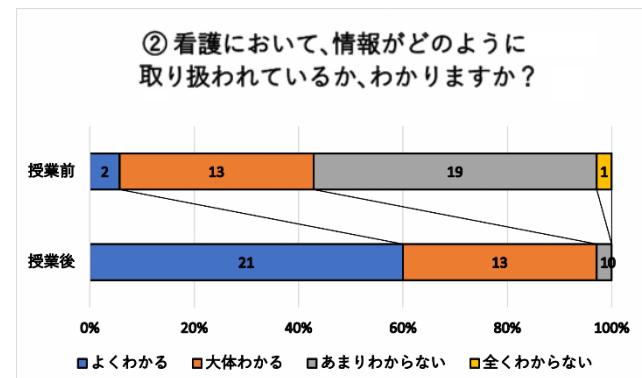


図14 アンケート項目②

③情報を探るためにどのような行動を取ればよいか、わかりますか？

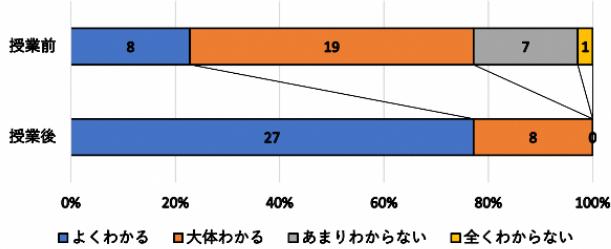


図15 アンケート項目③

④看護において、なぜ情報管理が重要か、わかりますか？

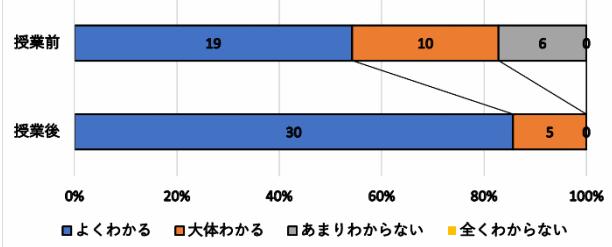


図16 アンケート項目④

⑤情報管理が重要だという意識が、今、あなた自身にあると思いますか？

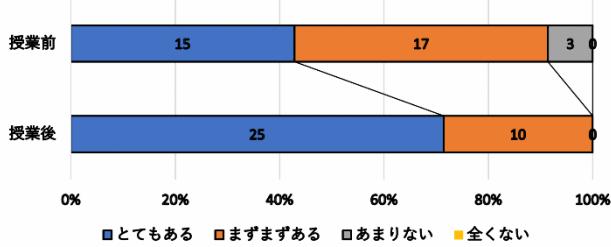


図17 アンケート項目⑤

⑥情報管理について、これから学んでいきたいと思いますか？

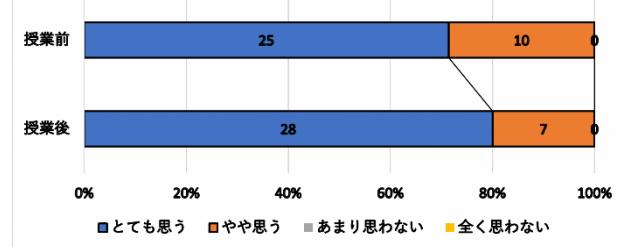


図18 アンケート項目⑥

質問項目別にみると、「よくわかる」または「大体わかる」と回答した者の合計は、質問①「看護を取り扱う情報には、どのようなものがあるか、わかりますか？」については、授業前は40%（14人）で、授業後は94%（33人）となった（図13）。質問②「看護において、情報がどのように取り扱われているか、わかりますか？」については、授業前は43%（15人）で、授業後は97%（34人）となった（図14）。質問③「情報を守るために、どのような行動を取ればよいか、わかりますか？」については、授業前は77%（27人）で、授業後は100%（35人）となった（図15）。質問④「看護において、なぜ情報管理が重要か、わかりますか？」については、授業前は83%（29人）で、授業後は100%（35人）となった（図16）。質問⑤「情報管理が重要だという意識が、今、あなた自身にあると思いますか？」については、「とてもある」または「まづまづある」と回答した者の合計は、授業前は91%（32人）で、授業後は100%（35人）となった（図17）。質問⑥「情報管理について、これから学んでいきたいと思いますか？」については、「とても思う」または「やや思う」と回答した者の合計は、授業前後ともに100%（35人）であった（図18）。各質問項目とも、数値の大幅な上昇が確認された。

そのうえで、「情報管理における看護師としての倫理観」の育成度合いについて検証する。質問①～④の全項目について、「よくわかる」または「大体わかる」と答えた生徒で、かつ、質問⑤についても「とてもある」「まづまづある」と答えた者の合計の変化は、授業前は29%（10名）であったが、授業後は91%（32人）となり、大幅な上昇が確認できた。

## オ 研究の成果と今後の課題

検証結果より、今回の一連の研究授業の取組が、本研究の目的であった「情報管理における看護師としての倫理観の育成」について、大いに効果があったと考える。

もともと生徒の看護・医療職への目的意識・関心は高く、これまで「基礎看護」や「看護臨地実習」などの科目において、情報管理の重要性は意識付けをしてきていた。しかし、今回の単元の学習を通して、授業後には質問⑤において全ての生徒が「とてもある」または「まづまづある」と回答するに至り、特に「とてもある」と回答した者の割合が71%（25人）となり、授業前より43%（15人）増加したこと

は大きな成果である。これらは、情報管理に関する基礎的な知識を基に、模擬電子カルテを使用した演習を行うことで、看護で取り扱う情報の内容や取り扱いの方法、具体的な情報保護のための行動やその理由などについて理解を深め、情報管理に対する意識が向上したためだと考える。

また、質問⑥の主体的に情報管理を学ぶ姿勢についても、授業後には全ての生徒が「とてもそう思う」または「ややそう思う」と回答するに至ったが、そのうち「とてもそう思う」と答えた者は80%（28人）に上った。このことは、今後進化する情報システムに対応して自ら考え行動していくために、継続して主体的に学び続けるという看護師としての大切な姿勢を身に付けることに役立ったことを示している。

今後の課題としては、長期的な視点で組織的に情報管理における倫理観を育成していくために、看護教科の他科目との連携を図りながら、学習段階を踏まえて学年毎の到達度を明確にした学習計画を立案していくことが重要だと考える。加えて、臨地実習や外部講師による講演などとも関連付けながら、多様な学習の機会をいかして、生徒の実体験を通した効果的な学習を展開する必要がある。そして、生徒一人ひとりの学びを大切にしながら、看護師としての倫理観の育成を図り、適切に情報を管理し、看護にいかしていける力を育んでいきたい。

## 参考文献

公益社団法人日本看護協会 2021 「看護職の倫理綱領」 p. 4

## 看護における情報の活用と管理

～模擬電子カルテで患者さんの情報を収集しよう～

## &lt;本日の学習目標&gt;

看護において患者の個人情報を扱う際の、情報管理の重要性とセキュリティ対策について考える。

1 電子カルテで、患者さんの情報を集めてみよう。

患者情報シート

2 患者さんの情報収集をして気がついたことについて、ペアワークで話し合おう。

--

## 参考資料 1

3 電子カルテから情報収集をする際の注意点について考えましょう。

それは、なぜ注意をしないといけないかについても考えましょう。

4 情報管理はなぜ必要だと考えますか？

--

5 情報管理に関連した法律を復習しよう。

--

H 番 氏名 \_\_\_\_\_

## 看護における情報の活用と管理

～患者さんの情報を守るために何ができるだろう？～

## &lt;単元&gt;

看護における情報の活用と管理

## &lt;テーマ&gt;

患者さんの情報を守るために何ができるだろう！

## &lt;単元の目標&gt;

- ①看護における情報の活用と管理について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- ②看護における情報の活用と管理に関する課題を発見し、倫理観を踏まえて合理的かつ創造的に解決策を見いだす。
- ③看護における情報の活用と管理について自ら学び、看護における課題解決に主体的かつ協働的に取り組む。

## &lt;評価の標準&gt;

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
看護における情報の活用と管理について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	看護における情報の活用と管理に関する課題を発見し、倫理観を踏まえて合理的かつ創造的に解決策を見いだす。	看護における情報の活用と管理について自ら学び、看護における課題解決に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

## &lt;授業の内容・時間&gt;

①医療・看護に関する情報システムの特徴とセキュリティ・・・2時間（講義）

②看護における情報の活用・・・1時間（講義）

③看護における情報管理・・・2時間（演習）

## &lt;振り返りシート&gt;

この単元を通して、「患者さんの情報を守るために何ができるだろう！」というテーマについて、考えてほしいと思います。

振り返りシートを使い、自分の学びと課題を振り返りながら、自ら学ぶ姿勢を大切にしていきましょう。



## 参考資料 2 振り返りシート

月日	自分の学びと課題

## 単元全体の振り返り

--

H 番 氏名 \_\_\_\_\_